

# 北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第729号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)

2

2017

平成29年  
2月10日発行

第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会  
7月7日(金)~9日(日)

## INDEX

印刷燦燦	3
第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会開催概要	4
平成28年度第6回理事会開催	5
平成28年度下期北海道地区印刷協議会開催	6・7
平成29年新年交礼会開催	8~10
「団体扱給油事業」案内	11

[表紙] 買物公園 (サキソフォン吹きと猫) : 旭川市

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル  
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072

UD  
FONT  
by MORISAWA

100%  
古紙100%再生紙

VEGETABLE  
OIL INK

GREEN PRINTING JAPAN  
2016年12月12日  
2016年度印刷文化典旭川大会  
実行委員会事務局より発行

CSR  
P-00023

この印刷物は、CSRに  
取り組む印刷会社が製作  
した印刷物です。

# 印刷 燦 燦

## 制服に込められた3つの意味

街を歩いていると様々な所で「制服姿」を見かける。学生、警察官、スポーツ、病院、パイロット、デパートなど・・・実に多種多様である。

制服を設けるもっとも重要な目的は、組織内部と外部の人間、組織内の序列・職能・所属などを明確に区別できるようにすることである。また、同じ制服を着ている者同士の連帯感を強めたり、自尊心や規律、忠誠心を高める効果が期待される場合もある。格好良い制服やかわいい制服は、あこがれを抱かせ、その制服を着たい（転じて、その職種に就きたい・その組織に入りたい）という願望をもたせ、人材確保に一役買うこともある。

私は、印刷業の傍ら36年間、網走消防団員として活動し、制服を着用してきた。10年前より、団長として新入団員の皆さんに辞令交付をする際、「制服に込められた3つの意味」の話をしている。

『今、私達が着ている消防団の制服ですが、是には3つの意味が込められています。是非覚えて頂きたいと思います。

一つは、制服を身につけた消防団員としての誇りであります。

一つは、制服には消防団員としての品格が求められます。

一つは、市民の皆さんの希望が制服に託されています。

誇りと品格と希望が込められた制服を着こなして、住民の皆さんの信頼に応えるよう努力してください。』

本年7月には、第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会が開催される。6年前のオホーツク大会では、胸にバッジを付けての参加をお願いした。

今回の大会では、どんな形でもよいから「制服」を着用して参加し、「地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう」の気概で、旭川の街を楽しんでみたい。

北海道印刷工業組合理事・オホーツク支部長 松井 丈

株式会社北研社 代表取締役

# 第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会 開催概要決まる

第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会が、「地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう」をテーマに、7月7日(金)から9日(日)まで、旭川市で開催される。

開催概要は、次のとおり。

1. 主 催 主催：北海道印刷工業組合 主管：北海道印刷工業組合旭川支部
2. 後 援 経済産業省北海道経済産業局、北海道、旭川市、旭川商工会議所、北海道中小企業団体中央会、北海道新聞旭川支社、(株)北のまち新聞社「あさひかわ新聞」
3. テー マ 「地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう」
4. 行事日程

(1) 記念 ゴルフ 大会	日 時	7月7日(金) 13:00
	会 場	フォレスト旭川カントリークラブ (旭川市神居町雨粉430)
	参加費	5,000円(懇親会費・表彰費) ※プレー費は各自精算

(2) 記念 講演	日 時	7月8日(土) 15:00~16:30
	会 場	旭川市民文化会館 (旭川市7条通9丁目50番地)
	講 師	堀江貴文氏

(3) 記念 式典	日 時	7月8日(土) 17:00~18:00
	会 場	旭川グランドホテル (旭川市6条通9丁目)

(4) 記念 パーティ	日 時	7月8日(土) 18:30~20:30
	会 場	旭川グランドホテル
	参加費	12,000円

(5) エク スカー ション	日 時	7月9日(日) 9:00~15:00 (時間は予定)
	会 場	大雪森のガーデン 上野ファーム(検討中)
	参加費	未定

# 第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会 の行事内容等を決定

## 平成28年度第6回理事会

平成28年度第6回理事会が、1月10日午後1時から札幌市中央区の札幌グランドホテルで全道から理事13人と来賓として全日本印刷工業組合連合会の臼田会長、生井専務理事が出席して開催され、第4四半期事業スケジュール、第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会の概要を決定した。

**理**事会は、最初に、板倉理事長が、「一番気になるのは経済状況と思うが、北海道経済産業局の最近の経済概況ではおだやかに持ち直していると発表されている。アメリカの新大統領が20日に発足する。その政策如何によって何らかの異変が起きてくるのかという思いもある。不安のないことを祈るだけである。北海道のなかでは新幹線が開業し、乗車率も好調であるということなので、経済に良い影響がでているのではないか。一方で8月の台風が上川・十勝地区に集中し、農家に多大な損害がでている。1年や2年で回復できないのではないか。北海道にとって甚大な損害である。そのなかでいろいろな業種・産業があるが、我々印刷業は個々で頑張って北海道経済を支えていかなければならない。そのため2025計画をしっかりと踏まえていきたい」とあいさつを述べた。

つづいて、定数報告が行われ、板倉理事長を議長に議事に入った。

先ず、報告事項として、(1)事業実施状況について、北印工組の事業、全印工連の事業、関連団体の事業に大

別して、10月に開催された第5回理事会の以降の活動状況が報告された。(2)財務状況については、12月末の試算表、予決算対比表、賦課金納入状況が説明された。(3)平成29年度賦課金決定のための売上高報告調査については、1月20日に調査票を発送し、2月10日を報告期限として調査を行うことが説明され、調査票回収への協力の要請が行われた。(4)平成28年度被表彰者について、藍綬褒章1名、全印工連組合功労者顕彰2人の受賞者が報告された。

次に、議事に移り、(1)平成28年度第4四半期事業スケジュールについて、事業計画に基づく組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会の開催準備、組合創立80周年誌編纂の準備の8本の柱とした各事業の実施スケジュールを決定した。

(2)第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会について、大会概要と、組合員の負担金額について説明され、承認された。(大会概要は4頁に掲載)

# 平成28年度下期北海道地区印刷協議会開催

平成28年度下期北海道地区印刷協議会が、1月10日午後1時30分から札幌市中央区の札幌グランドホテルで、全日本印刷工業組合連合会の臼田真人会長、生井義三専務理事の臨席のもと理事13人が出席して開催された。

**北** 海道地区印刷協議会は、臼田会長のあいさつ  
の後、生井専務理事から全印工連の事業概況  
について説明が行われた。

## 臼田全印工連会長あいさつ要旨

昨年10月に開催した全日本印刷文化典ふくしま大会には、全国から710名の参加をいただいた。この大会で中小印刷業の団結力、そしてパワーを大いにアピールできたのではないかと考えている。また、昨年は自然災害の多さが際立っていた。4月に熊本県を中心に発生した地震、熊本および大分の両工組で組合員36社が被災された。全印工連では、全国に義援金を呼び掛けた結果、1,900万円を超える額が集まり、6月には両工組に義援金を贈った。8月は北海道に台風が3つ上陸、農作物に大きな被害が出た。10月、全日本印刷文化典ふくしま大会の当日には、鳥取県で地震が発生、その後も福島や茨城で大きな地震が続いている。そして、年末には糸魚川市で大規模な火災が発生した。これも自然災害だと思う。何となく、年々自然災害が増えているようで、これも地球温暖化の影響なのかどうか分からないが、災害への備えが、ますます重要になってきている。このような自然災害や個人消費の伸び悩みなどの影響により、我が国の景気はなかなか回復しないというのが実感ではないか。

さらに、アメリカにおいては、ドナルド・トランプ氏



が大統領に就任する。政治経験のないトランプ氏の打ち出す政策が、どのようなものになるのか、特に中国にはどのように向き合うのか、就任後100日が試金石であると言われているが、それによって世界経済は大きな影響を受けることは必至である。さらに、イギリスのEU離脱、そして今年はEUの中の主要国であるオランダ、フランス、ドイツなどの選挙も控えている。自国の利益優先というのか、大衆迎合主義の台頭ということが言われている。そういった意味では、先の読めない、見通せない状況がしばらく続くのではないか。

全印工連では、昨年5月に新しい執行部が誕生して、新しい事業や委託調査事業を受託するなど、活発に事業展開している。経営革新マーケティング委員会で検討を進めてきた事業承継支援事業がいよいよスタートする。また、オリックス自動車との提携による中古車リースやレンタカー、あるいはアクセスログ監視システムなどの新しい紹介事業、技能検定製版職種DTP作業の実施といった事業など、積極的に事業展開している。なお、官公需における知的財産権の適切な処理については、経済産業省の「コンテンツ産業強化支援事業」という調査事業を受託して、1月末には、報告書がほぼまとまる段階となっている。

全印工連には、これ以外にもさまざまな事業を推進している。これらの事業を展開するうえでは、まず、そ

の事業について、組合員の皆様にしっかりと伝え、理解していただくことが必要である。その事業を伝える機会の1つである地区印刷協議会であるが、今後、「伝える」、「理解していただく」ために、現在、その運営方法についての検討を進めている。これまでの地区協は、全印工連からの報告など、一方通行のきらいがある。また、その報告が工組内で広がっていれば良いが、必ずしもそうになっていないという点に問題があると認識している。全印工連、地区協、工組が連携し、情報伝達を上手く行って、組合員に対してメリットを打ち出せるようにしたいと考えている。特に、分科会の運営についても、報告が主体となっていたり、各県の近況発表で終わっているケースが多いというのが実態である。出席者が積極的に協議を行い、意見を出し合い、その中から地域の意見を集約して、吸い上げるという機能も無いというのが現状である。

そこで、第一弾としては、分科会で、訴えたいことやお願いしたいこと、議論すること、報告すること、以上の3つを明確に区分して、メリハリを付けた運営に心がけていきたいと考えている。そのためには、分科会のレジュメというか、コンテンツをしっかりと作らなければならないわけで、今後、委員長にその点はお願いする予定である。

要は、報告主体から、議論や協議主体に変えることによって、事業への理解を深めてもらう、といった趣旨である。今後、全印工連の常任役員会や理事会でコンセンサスを得ながら地区協の運営方法を変えていきたい。

全印工連では、平成28年度、「志あふれる印刷産

業へ期待される価値を求めて」をテーマに掲げた。2017年は飛躍の年にしたいと考えている。先達の教えに学び、伝統をしっかり引き継いだ上で、新たに挑戦するという気概を持って、組合員の皆様に勇気と元気が出るよう、積極的に事業展開を行っていく。

### 全印工連事業概況

生井専務理事から、全印工連の事業概要について、①事業承継セミナーの実施、②勝ち残り合宿ゼミの開催、③印刷業経営動向実態調査の実施、④第16回印刷産業環境優良工場表彰の募集、⑤CSR（ワンスター・ツースター・スリースター）の募集、⑥経済産業省「コンテンツ産業強化支援事業」の受託および推進、⑦官公需取引に関するアンケート調査の回収結果、⑧「全印工連2025計画」概要版と行政等への働きかけ、⑨遠隔教育システムの導入、⑩環境労務アンケートの結果、⑪技能検定製版職種DTP作業の受検者数、⑫ダイバーシティ「印刷業で働く多様な人材の活用」アンケートの結果、⑬組合員台帳調査の回収結果、⑭第10回MUDコンペティションの応募結果、⑮オリックス自動車との連携による組合員限定サービス事業（中古車リース、レンタカー、カーシェアリング）、⑯アクセスログ監視システムの紹介事業、⑰オフセット印刷工場用VOC警報器、⑱クラウドバックアップサービス事業、⑲官公需全国協議会（同時開催：経済産業省「コンテンツ産業強化支援事業」報告会）、⑳全国青年印刷人協議会全国協議会、㉑2017全印工連フォーラムのそれぞれの事業概要について説明が行われた。

# 平成29年新年交礼会が盛大に開催

## 北海道印刷関連業協議会

北海道印刷関連業協議会平成29年新年交礼会が、1月10日、午後5時から札幌市中央区の札幌グランドホテルで、来賓・印刷・関連者約220名が出席して盛大に開催された。



板倉 清  
北海道印刷関連業協議会  
会長

**最**初に、板倉清北海道印刷関連業協議会会長（北海道印刷工業組合理事長）が年頭のあいさつで、多数の来賓と参会者に参加のお礼を述べた後、「経済環境は、政府の“月例経済報告”

では『緩やかに回復基調が続いている』、北海道経済産業局の“最近の管内経済概況”でも『緩やかに持ち直している』と昨年からの景気の浮揚が伝えられており、明るい方向に向かっている。反面、新年の新聞各紙では、アメリカの新大統領の政策如何によっては、経済の先行きを不安視する報道もなされている。この不安が現実とならないことを祈りたい。今年、道内印刷関連業界では、大きなイベントが2つある。1つ目は、昨年からはまった『HOPE』である。今年は、9月1日・2日に、第2回となる『HOPE2017』が開催される。学びと情報発信の場を、全道の印刷関連業の皆さんに提供していく。昨年は、ありがたいことに多くの方々から高い評価を頂戴した。今年は、さらに工夫を凝らし、皆さんの学びと情報発信の場として、有効に活用できるように努めていく。是非、多くの経営者が社員の方々と一緒に来場いただければ幸いである。2つ目は、北海道印刷工業組合が、3年毎に行っている北海道情報・印刷文化典である。今年が、開催の年となり、7月に旭川市で第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会として開催する。全道の組合員が一堂に会し、直面する問題を討議し、研鑽を重ね、経営基盤の安定強化を図り、親睦を深め、連携をより強固にし、情報技術が変革するなかでの印刷産業の方向性と位置づけを見出す契機となるものと思っている。さらに、新しい印刷産業を広く社会にアピールしていく

とともに市民の皆さんに講演会を通して文化の還元を行っていく。先程、交礼会に先立って開催された『新春経営者研修会』では、企業において、社員を成長させ、その社員を中心とした企業のブランディング戦略がテーマとなっていた。1億総活躍社会が掲げられるなかで、労働生産性人口は、確実に減って行く。我々の業界にとって、人材の育成は、企業の存亡に繋がる課題である。人材の育成を無くして、企業の勝ち残る方法はないことを、改めて認識させられた。北海道では、昨年、新幹線が開業し、乗車率も好調に推移し、観光ならびに関連産業を中心に経済効果が生まれている。さらに、札幌までの延伸、加えて札幌冬季オリンピック・パラリンピック誘致が成功すると、北海道経済にとっては希望の星となる。これが実現すると、我々印刷関連業界にも、新たな大きな需要の創造が広がると思われる。実現に向けて印刷関連業界としても、できる限りの支援をして行こう」と述べた。

次に、多数の来賓を代表して4人から祝辞が述べられた。



寒川卓知  
経済産業省  
北海道経済産業局  
地域経済部長

小嶋秀平経済産業省北海道経済産業局長の代理として出席した寒川卓知地域経済部長は、「このところの我が国経済はアベノミクスによりGDPが44兆円増え、雇用も110万人増えるという経済の好循環が着実に進んでいる。このようななか政府では世界に先駆けて成長と分配の好循環モデルの確立を目ざしている。そのため加速する第4次産業革命に対応した未来都市拡大、働き方改革、さらには賃上げの環境整備等を柱に、来年度予算をはじめさまざまな取り組みをしている。この成長と分配の好循環

は何としても実現したいと思っている。道内経済は、拡大する食の海外展開、観光インバウンド等が水産商品に好影響を与えており、緩やかに戻している。一方で昨年の台風などのように災害や人手不足、さまざまな環境変化に対応できる強い北海道経済が今、求められている。北海道経済産業局では兎に角現場に足を運び、関係の皆様と連携をしながら地域の強みを伸ばす攻め、危機災害に強い守り、さらにはエネルギーの安定供給で支えるという3つの視点で状況に合わせてながら、より強い企業への挑戦を積極的に支援していく。一方で皆様の事業環境は、需要の変化、縮小、情報の伝達手段の変化・多様化が進行している。ロボット、AI、IOTといった時代になり、さらに選択肢や可能性が拡大していく。そういったなかで、新たな商品・サービスとして新たな価値の創造が可能になると思っている。皆様の業界で新たなビジネスモデルの挑戦や成果が拡大することを期待し、そうした取り組みに当局も精一杯支援をさせていただきたい」と述べた。



阿部啓二  
北海道  
経済部長

高橋はるみ北海道知事の代理として出席した阿部啓二経済部長は、「昨年を振り返ると、何と言っても夏に3つの台風が1週間のうちに上陸・接近して、特に十勝・上川を中心に多大なる被害をもたらし、これまでにないような状況であり、まだ道民生活、地域の経済にとってもその爪痕が残っている。道庁としてもその復旧復興に向けて、現在も邁進している。そういった悪い話ばかりでなく、3月には私ども道民の悲願であった北海道新幹線が新函館北斗までであるが開通し、特に道南地域を中心に観光産業の発展に大きく寄与している。これからのビジネスが東北・本州を中心につながり、ますます強くなっていくのではないかと考えている。最近の動きとして、ものづくり産業分野を見ると、スマート農業の進展、自動車の自動走行等、4次産業革命が注目を集めている。そうしたなか、印刷関連業界の関係では、昨年、全国組織である全日本印刷工業組合連合会で、印刷業界の今後10年を見据えた戦略として『全印工連2025計画～新しい印刷産業へのリ・デザイン』ということで、

環境コラボレーション、女性の活躍促進など5つの分野での計画を作られるなど、印刷業界の新たな展開、次世代に向けた新たな取り組みを展開されていると承知している。北海道情報印刷産業展を展示とセミナーを組み合わせた学びと情報発信の場として新たな装いのもと『HOPE』として開催され、時代の変化に対応した新しい取り組みを展開されていることに対し敬意を表する。印刷業界を取り巻く環境は、原料価格の高騰、市場の成熟化、ICT技術の進展など厳しい状況にあると思っているが、そういったなかでも時代の変化に合わせてそれぞれの時代にふさわしい印刷業界を確立する努力をされていることに期待している」と述べた。



町田隆敏  
札幌市  
副市長

秋元克広札幌市長の代理として出席した町田隆敏副市長は、「今年は、2月19日から26日までは冬季アジア大会のスポーツ競技会がある。冬季アジア大会は、31の国・地域から2,000人を超える選手・役員の方が来る動きがある。1972年の札幌冬季オリンピックは1,650人位の選手・役員の数であったので、今回の冬季アジア大会はまさに北海道始めて以来のスポーツの大きなイベントになる。この成功が、札幌市が招致を目指している冬季オリンピック・パラリンピックに結び付いていくものと思っている。オリンピックの招致をなぜ取り組んでいくのかというと、世界各国でもそんなに金のかかるもの止めてしまえということで、ヨーロッパでも当初開催の計画があっても実現に至らないという国がたくさんある。金がかかるオリンピックをどう考えるかということであるが、私は、札幌で新しいことを始める、新しいものを作り始めていく、クリエイティブな町、札幌の象徴としてオリンピック・パラリンピックを考えていくことに意義があることではないかと思う。実現するとしても2026年、2030年であるが、地域として町として新しいことを始める、新しいものを作るという象徴として考えたいと札幌市は思っている。そのためには常に新しいことをやって変わるということが極めて必要である。業界として企業として、変わるということに意欲



的であることが重要だと思う。変わるということは、なかなか大変である。変わるためのリスクを分散していくために業界団体として取り組む、行政のなかのいろいろな制度を使って新しい試みにリスクを分散しながら取り組んでいくことが良いと思う」と述べた。



白田真人  
全日本印刷工業組合連合会  
会長

白田真人全日本印刷工業組合連合会会長は、「今年の10月に全日本印刷工業組合連合会が福島において全日本印刷文化典を開催し、全国から710名を超える参加をいただいた。安倍内閣総理大臣、世耕経済産業大臣からの祝辞を賜り盛会に終わったことを皆様に報告申し上げるとともに、印刷関連産業皆様の尽力の賜と厚くお礼申し上げます。その場で私ども印刷業界の団結、未来に向けた目標、現在山積している問題など共通した確認ができたすばらしい大会になったと思っている。先ほどのセミナーのなかで鳥原社長が話していたように、印刷業界においても今までのようにいつでも、どこでも、だれでもが買えるような印刷物は価値が生まれません。これからは今だけ、ここだけ、あなただけという印刷物プラスサービスを付けた業界に変わっていかねばならない。私ども全印工連としても一社一社の自助努力、各社に力強いプラスになるような事業展開、サービス提供を行っていき、印刷組合としては自助努力にプラス共助という立場で、しっかり組合員の皆さんを支えていきたい」と述べた。



福迫均  
北海道中小企業団体中央会  
専務理事

つづいて、乾杯に移り、尾池一仁北海道中小企業団体中央会会長の代理として出席した福迫均専務理事は、「私ども中央会は、最近では本来の業務よりも、ものづくり補助金の事務局ということで存在が知られている感があるが、その28年度事業の公募の締切が1週間後に迫っている。道内ではこれまで4年間で1,200件以上、金額にすると112億円を超える補助金の実績がある。今回もたくさんの公募を待っている。来年度以降もこの事業が継続されるよう経済産業局にこの場を借りてお願い申し上げます」と述べ、



乾杯が、行われ開宴した。



井田多加夫  
北海道印刷工業組合  
旭川支部長

祝電披露が行われ、祝宴が続くなか、井田多加夫北海道印刷工業組合旭川支部長が、「大会テーマを、『地域とともにあって、志あふれる印刷産業へ向かう』とした。旭川では地域に対する関心が強く、その活動を活発に行っている。一昨年になるが地元の旭川大学の江口ゼミナールと共同事業で旭川ラーメンの研究をし、「今日も旭ラー」として出版し、15,000部が売れた。7月7・8・9日の3日間、旭川大会が開催される。皆さん挙って参加くださいますようお願いしたい」と、7月に旭川市で開催される第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会のピーアールを行った。



守田敏治  
北海道印刷関連業協議会  
副会長

新年のあいさつと歓談が続くなか、守田敏治北海道印刷関連業協議会副会長（北海道紙器段ボール箱工業組合理事長）が、「いろいろな話を賜り、何かこの時代、第4次産業革命のような話をいただいた。正にイギリスで行った産業革命に匹敵し得るような時代に、我々が今、大変革のなかに生きているということをつくづく感じる。いろいろな業種・業態があるが、いろいろな部分で大変な時代のなかで我々が生きている。軸足でしっかり土台を踏みしめながら明日に向かって新しいものを作り上げるような会社づくりをしていきたい」と述べ、威勢よく三本締め、平成29年新年交礼会を閉会した。

# 北印工組独自の共済事業「団体扱給油事業」のご案内

## ガソリン・軽油が市価より廉価

北海道印刷工業組合は、独自の共済事業として、ガソリン・軽油が市価より廉価で購入できる「団体扱給油事業」を実施している。

**北** 海道印刷工業組合は、「団体扱給油事業」を陸自総合協同組合と提携し実施している。

この団体扱給油事業は、ガソリンと軽油が対象で、組合員企業の自動車の給油を団体扱いで取り組むことにより、ガソリン・軽油が市販の価格より廉価で購入できることから、組合員企業の経費削減の一助を目的としている。

また、従業員の自動車も対象になるので福利厚生の上にも利用できる。

価格基準は、道内一律価格となっている。

対象製品は、ハイオクガソリン、レギュラーガソリン、軽油の3種類となる。

給油先は、ENEOS、コスモ、出光の全道のガソリンスタンドとなり、同一の看板（メーカー）であれば、どのスタンドで給油しても契約価格で給油でき、代行手

数料は不要となる。

価格は、資源エネルギー庁石油情報センターの当月全国平均価格からガソリンは4円引き（コスモは5円引き）、軽油は同じく7円引き（コスモは8円引き）となり、これが基準価格となる。

実際の販売価格は、この基準価格を下回る価格で取引が行われている。（下表参照）

給油方法は、給油カードを使用し、キャッシュレスで後払い（口座振替・振込み）となる。

また、利用明細が発行されるため車両管理にも役立つことができる。

この制度の利用にあたって、出資金10,000円（退会時に返還）と1法人1,200円の年会費が必要で、加入にあたっては与信審査がある。

### 団体扱給油事業（陸自総合協同組合）

基準価格 資源エネルギー庁石油情報センター

#### レギュラーガソリン（ENEOS・出光）

（単位：1リットル当たり価格）

年/月	北海道 平均価格 A	全 国 平均価格 B	陸自総合協同組合		利用差額 E D-A
			契約販売価格 C (全国平均-4.0円)*	販売実績価格 D	
2016/12	127.1	128.3	124.3	122.0	-5.1
2016/11	124.4	126.0	122.0	118.8	-5.6
2016/10	123.2	124.4	120.4	118.8	-4.4
2016/9	121.4	122.9	118.9	116.1	-5.3
2016/8	119.0	121.9	117.9	114.4	-4.6
2016/7	120.0	123.0	119.0	113.4	-6.6

\*COSMOIは、全国平均の5.0円引きになる。

#### 軽油（ENEOS・出光）

（単位：1リットル当たり価格）

年/月	北海道 平均価格 A	全 国 平均価格 B	陸自総合協同組合		利用差額 E D-A
			契約販売価格 C (全国平均-7.0円)*	販売実績価格 D	
2016/12	108.9	107.5	100.5	98.8	-10.1
2016/11	106.0	104.9	97.9	93.8	-12.2
2016/10	105.0	103.5	96.5	92.2	-12.8
2016/9	103.3	102.4	95.4	91.5	-11.8
2016/8	101.7	102.1	95.1	92.0	-9.7
2016/7	102.5	102.9	95.9	92.3	-10.2

\*COSMOIは、全国平均の8.0円引きになる。

The

31st

2017 HOKKAIDO PRINTERS' FORUM in ASAHIKAWA

# 北海道情報・印刷文化典 旭川大会

地域とともにあって、  
志あふれる印刷産業へ向かう

## C O N T E N T S

**7.7(金)** | 記念ゴルフ  
1:00p.m. ~  
フォレスト旭川カントリークラブ

**7.8(土)** | 記念講演 講師/堀江貴文氏  
3:00p.m. ~ 4:30p.m.  
旭川市民文化会館

記念式典  
5:00p.m. ~ 6:00p.m.  
旭川グランドホテル

記念パーティ  
6:30p.m. ~ 8:30p.m.  
旭川グランドホテル

**7.9(日)** | エクスカーション  
9:00a.m. ~  
大雪森のガーデン他

経済産業省北海道経済産業局  
北海道  
旭川市  
旭川商工会議所  
北海道中小企業団体中央会  
北海道新聞旭川支社  
(株)北のまち新聞社「あさひかわ新聞」

主催 北海道印刷工業組合

主管 北海道印刷工業組合旭川支部

後援

問い合わせ 北海道印刷工業組合旭川支部 旭川市7条通23丁目左1号 TEL.0166-31-5581 FAX.0166-31-6227



北海道印刷工業組合